

## SDGsの実施と今後の展望 ～G7伊勢志摩サミットの成果を踏まえて～



外務省  
地球規模課題総括課長  
西岡 達史

1

本日お話しすること

- ① **G7伊勢志摩サミットの成果**  
開発課題を巡る議論
- ② **MDGsからSDGs**  
国際開発目標の変遷
- ③ **SDGs推進に向けた我が国の取組**
- ④ **まとめ(今後の課題)**

2

# ① G7伊勢志摩サミットの成果 開発課題を巡る議論

3

## 伊勢志摩サミットの概要

The screenshot shows a YouTube video player with the following details:

- Title:** G7伊勢志摩サミットの成果
- Views:** 470
- Description:** 2016/06/29に公開  
6月29日及び30日、三重県伊勢志摩にて安倍総理議長の下でG7サミットが開催されました。G7伊勢志摩サミットでの議論の概要とその成果などについてご紹介します。

The video player interface includes a search bar, navigation icons, and a sidebar with recommended videos. The browser address bar shows the URL: <https://www.youtube.com/watch?v=q4xvu79k2w4&feature=youtu.be>. The system tray at the bottom shows the date and time: 8:52 2016/07/04.

4

## 伊勢志摩サミットの概要



### 1. 議題・日程

5月26日(木)	第1セッション(ワーキング・ランチ): G7の価値・結束, 世界経済 第2セッション: 貿易 第3セッション: 政治・外交 第4セッション(ワーキング・ディナー): 政治・外交
5月27日(金)	第5セッション: 気候変動, エネルギー 第6セッション: アジアの安定と繁栄(アウトリーチ①) 第7セッション(ワーキング・ランチ): 開発, アフリカ(アウトリーチ②)

- ✓ 今回は2030アジェンダ採択後初のG7サミット  
⇒「保健」や「女性の活躍」に焦点を当てつつ、  
SDGsの推進及びアフリカの開発について議論。
- ✓ (参加国・機関)チャド, インドネシア, スリランカ, バングラデシュ, パプアニューギニア, ベトナム, ラオス, 国連, IMF, 世界銀行, OECD, アジア開発銀行。

5

## アウトリーチ(開発)の概要



- ア 保健:
  - ✓ 国際社会の対応能力の強化とユニバーサル・ヘルスカバレッジ(UHC)の推進が重要との点で一致。
  - ✓ これらの分野に関する「国際保健のためのG7伊勢志摩ビジョン」を発出。
  - ✓ 安倍総理からは, 国際保健機関等に対し, 今後新たに約11億ドルの支援方針を決定した旨発表。
- イ 女性:
  - ✓ 女性のエンパワーメントと男女平等の推進が, 持続可能な成長のためにも不可欠との点で一致。
- ウ アフリカ
  - ✓ 保健・女性に加え, 安全保障や気候変動等にもしっかり取り組み, 一体性のある, 豊かで平和なアフリカの実現のためにG7が後押ししていくことで一致。

6

## G7伊勢志摩首脳宣言(SDGs関連)



- The year 2015 marked “the dawn of new era” with the historic adoption of 2030 Agenda, Paris Agreement, and Addis Ababa Action Agenda.

2015年は、2030アジェンダの歴史的な採択、パリ協定、アディスアベバ行動目標と共に、新たな時代の幕開けとなった。

- “three dimensions of sustainable development- environmental, social and economic”  
持続可能な開発の、環境、社会及び経済という三つの側面
- “leaving no one behind, the 2030 Agenda lays the foundation for a more peaceful, stable, inclusive and prosperous international community.”

2030アジェンダは、誰一人置き去りにせず、より平和で、安定した、包括的で、かつ、繁栄する国際社会のための基礎を築く。

7

## G7伊勢志摩首脳宣言(SDGs関連)



We commit to advance “the implementation of the 2030 Agenda, domestically and internationally, in a people-centered and planet-sensitive manner.”

我々は、2030アジェンダの実施を、人間中心の、かつ、地球に配慮した形で、国内的及び国際的に進めることにコミットする。

We urge all countries and stakeholders to engage in this joint endeavor under a revitalized and enhanced global partnership to ensure a multi-stakeholder approach.

我々は、全ての国々及びステークホルダーに対し、マルチステークホルダー・アプローチを確保するため、再活性化され、かつ、強化されたグローバル・パートナーシップの下で、この共同の取組に携わることを強く求める。

“We are determined to take ambitious domestic action in order to contribute substantially to the global transition sustainable economies.”

我々は、持続可能な経済への世界的な移行に実質的に貢献するため、野心的な国内の行動をとることを決意する。

“we commit to support developing countries' efforts to implement the 2030 Agenda, with a particular emphasis on the dignity of individuals in vulnerable groups and promotion of human security.”

我々は、脆弱なグループにおける個人の尊厳及び人間の安全保障の促進を特に強調しつつ、2030アジェンダを実施するための開発途上国の取組を支援することにコミットする。

“addressing challenges in Africa is central to the realization of the SDGs”

アフリカの課題への対処はSDGsの実現のための中心となる。

8

## ② MDGsからSDGs 国際開発目標の変遷

9

### 策定の経緯

**前身はミレニアム開発目標(MDGs)。  
その達成期限が迫る中、国連で交渉・策定。**

2010年頃～

国際社会での議論  
(国連、「リオ+20」等)

2015年1月～

国連での政府間交渉  
(全7回)

### 【2015年の主要国際会議】

3月  
第3回国連防災  
世界会議  
(仙台)

7月  
第3回開発資金  
国際会議  
(エチオピア)

9月  
国連総会での  
首脳会議  
(ニューヨーク)

12月  
COP21  
(パリ)

10

前身:ミレニアム開発目標(MDGs) ロゴデザイン:  
(特活)ほっとけない 世界のまずしさ

①貧困・飢餓 ②初等教育 ③ジェンダー ④乳幼児



⑤妊産婦 ⑥疾病 ⑦環境 ⑧連帯

2001年に国連で策定。  
強み＝単純・明快・期限付き(2015年まで)

11

15年間でできたこと／できなかったこと

○極度の貧困の半減(MDGsのゴール1)  
1990年:世界の36% → 2015年:12%

○疾病対策(HIV、マラリア等)(同ゴール6)  
エイズ感染:40%減  
マラリア:620万人の命が救われた  
結核:3700万人の命が救われた

×未達成の課題、地域のばらつき  
乳幼児や妊産婦の死亡率  
サブサハラ・アフリカ(41%は極度の貧困)

12

## この15年間の国際的な環境の変化

### ●「持続可能な開発」の重要性

環境問題・気候変動問題

自然災害の多発

### ●格差の拡大

「途上国」間の差

(新興国・中所得国・後発国・島嶼国…)

一つの国の中の貧富の格差にも焦点

### ●アクターの多様化

民間企業や市民社会の役割の拡大

13

## SDGsの二つのチャレンジ

### ①MDGsの未達成の課題の深堀り

(例:極度の貧困の撲滅→あらゆる貧困の撲滅)



### ②MDGs策定後の新たな課題(持続可能性)

14

**まとめ: MDGsとの比較**

2001～2015年	2016～2030年
<b>MDGs</b> <b>ミレニアム開発目標</b> Millennium Development Goals	<b>SDGs</b> <b>持続可能な開発目標</b> Sustainable Development Goals
<b>8ゴール・21ターゲット</b> (シンプルで明快)	<b>17ゴール・169ターゲット</b> (包括的で、互いに関連)
<b>途上国の目標</b>	<b>全ての国の目標</b> (=ユニバーサリティ)
<b>国連の専門家主導</b>	<b>国連全加盟国で交渉</b> <b>実施手段(資金・技術)</b>

15

**持続可能な開発目標(SDGs)**

(①貧困) <b>1</b> 貧困をなくそう 	(②飢餓) <b>2</b> 飢餓をゼロに 	(③保健) <b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	(④教育) <b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	(⑤ジェンダー) <b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	(⑥水・衛生) <b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
(⑦エネルギー) <b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	(⑧成長・雇用) <b>8</b> 働きがいも経済成長も 	(⑨イノベーション) <b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	(⑩不平等) <b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	(⑪都市) <b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	(⑫生産・消費) <b>12</b> つくる責任 つかう責任 
(⑬気候変動) <b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	(⑭海洋資源) <b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	(⑮陸上資源) <b>15</b> 陸の豊かさも守ろう 	(⑯平和) <b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	(⑰実施手段) <b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	

ロゴ: 国連広報センター作成

日本自身の課題に関係が深い目標の例 ⇒実施には、多くの国内省庁が関係。

- 成長・雇用(同一労働同一賃金等) ●クリーンエネルギー ●イノベーション
- 循環型社会(3R: Reduce Reuse Recycle 等) ●温暖化対策 ●生物多様性の保全 ●女性の活躍
- 児童虐待の撲滅 ●国際協力 等

16



## 持続可能な開発目標(SDGs)(詳細)

目標1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2 (飢餓)	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3 (保健)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4 (教育)	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6 (水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8 (経済成長と雇用)	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9 (インフラ、産業化、イノベーション)	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10 (不平等)	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11 (持続可能な都市)	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13 (気候変動)	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15 (陸上資源)	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

18

### ③ SDGs推進に向けた我が国の取組

## SDGs推進本部の設置

- SDGsが採択された国連サミットにおいて、安倍総理から、SDGsの実施に最大限取り組む旨を表明。
- 今後、国内実施と国際協力の両面で率先して取り組むには、関係省庁が連携し、政府一体で取り組む体制が不可欠。
- G7伊勢志摩サミットでもSDGsが議論。議長国としてSDGsに率先して取り組む姿勢を示すことが重要。



SDGsを採択した国連サミットで演説する安倍総理(2015年9月)



SDGs推進本部会合(第1回)(2016年5月)

- ✓ 5月20日、総理を本部長、全閣僚を構成員とするSDGs推進本部を設置。
- ✓ 同日の第1回会合において、「SDGs実施指針」を策定していくことを決定。
- ✓ 安倍総理からG7伊勢志摩サミットに向けた我が国貢献策について説明。

19

## G7伊勢志摩サミットで表明された我が国の主な貢献策

5月20日にSDGs推進本部の立ち上げに際し、次のような貢献策を発表。

### 1 中東地域の安定化のための協力

難民を始めとする中東地域の諸課題の根本原因に対処するため、短期的な視点からの人道支援のみならず中長期的な視点から、日本の強みをいかした「人づくり」など、社会安定化と包摂的成長のための開発支援を行う。**今後3年間(2016~18年)で2万人の人材育成を含む、総額約60億ドルの支援を実施。**さらにJICA専門家等の人道支援チーム(注:仮称)の難民キャンプ等への派遣やシリア人留学生の受入れ拡大を行う。

### 2 国際保健

感染症対策、保健システム強化を通じたUHCの推進への貢献、予防接種の推進、日本企業による創薬等を推進するため、**国際保健機関(グローバルファンド、Gavi、GHIT等)に対し、総額約11億ドルの支援を実施(特にグローバルファンドについては当面8億ドルの拠出を目指す)。**

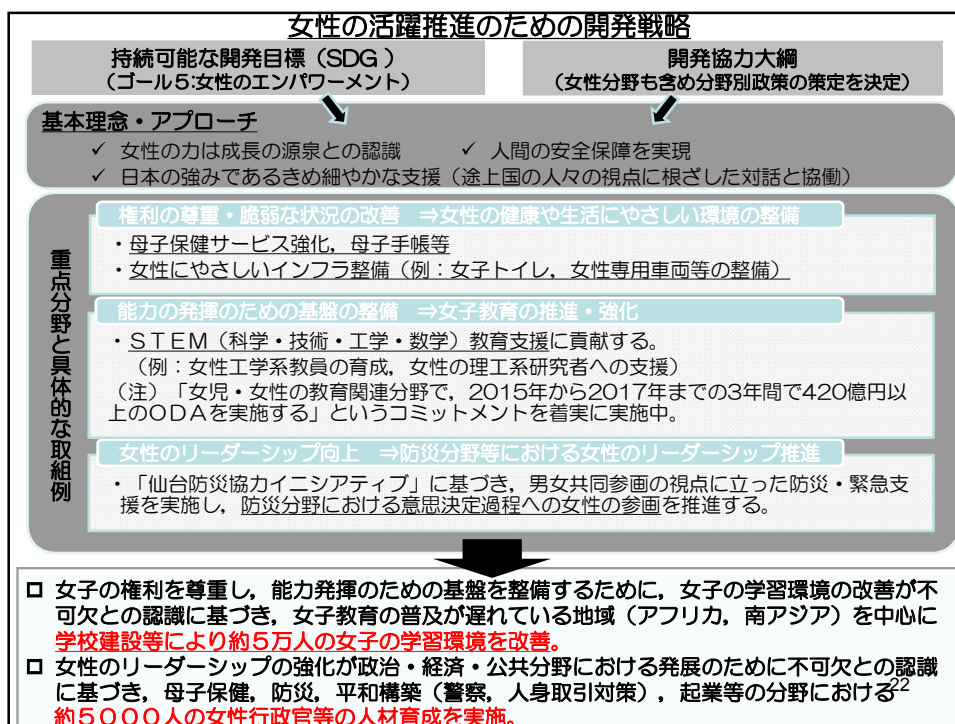
### 3 女性の活躍推進

女性の力は成長の源泉であるという認識のもと、女性の権利の尊重、能力の発揮、リーダーシップの向上を重点分野とする「**女性の活躍推進のための開発戦略**」を発表するとともに、**今後3年間(2016~18年)で、約5,000人の女性行政官等の人材育成、約5万人の女子の学習環境の改善を実施。**

20

日本の途上国支援策：官民の連携を重視	
<h3>質の高い成長</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●包摂的、持続可能かつ強靱な成長の追求</li> <li>→「質の高いインフラ」投資、産業人材育成の推進</li> </ul>	<h3>保健の新政策</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平和と健康のための基本方針(2015年9月)</li> <li>→公衆衛生危機への対応、UHCの達成</li> </ul>
<h3>教育の新政策</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平和と成長のための学びの戦略(2015年9月)</li> <li>→全ての人に質の高い教育、教育協力による人材育成</li> </ul>	<h3>防災の主流化</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>●仙台防災枠組み</li> <li>→より良い復興、事前投資</li> <li>●仙台防災協力イニシアティブ</li> <li>→4年で40億ドル、4万人</li> <li>●「世界津波の日」制定</li> </ul>

21



## 世界津波の日(11月5日)の制定

第3回国連防災世界会議<sup>※</sup>(2015.3) 持続可能な開発のための2030アジェンダ(2015.9)



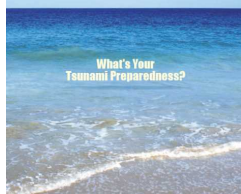
UN World Conference on  
Disaster Risk Reduction  
2015 Sendai, Japan



※ 2015年3月14日(土)～18日(水)に仙台市で開催され、185か国の代表、国際機関代表、認証NGO等6,500人以上、関連事業を含めると国内外からのべ約15万人以上が参加し、我が国で開催された最大級の国連関係の国際会議。

フォローアップ

**World  
Tsunami  
Awareness  
Day**  
To protect the precious lives  
of the people  
around the world



日本をはじめ**142か国**が共同提案した『11月5日を「世界津波の日」として制定する決議<sup>※</sup>』が、2015年12月22日、第70回国連総会本会議にて、**全会一致で採択**。

⇒ 今後、世界各地において、『津波に対する意識向上のための啓発活動』や『津波対策の強化』等を通じ、我が国はイニシアティブを発揮していく予定。



第70回国連総会本会議の様子

※1854年11月5日に和歌山県で起きた大津波の際に、村人が自らの収穫した稲むらに火をつけることで早期に警報を発し、避難させたことにより村民の命を救い、被災地のより良い復興に尽力した「稲むらの火」の逸話に由来する。 23

**④ 終わりに  
(今後の課題)**

## 今後の課題

### 2030アジェンダの着実な実施

- ① 先進国を含む全ての国の国内実施
- ② 途上国の実施に対する支援
  - ✓ 必要な開発資金の確保  
(→UNCTADの試算: 1年に4兆ドル!)

### 新しいグローバルパートナーシップが必要

- ① 先進国も途上国も
- ② 政府も民間企業も市民社会も有識者も

25